

ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2023-24 年度 大宮西ロータリークラブ 週報



世界に希望を生み出そう



創立:1963年 3月 22日

会長 藤嶋 剛史

例会場:パレスホテル大宮

幹事 横溝 一樹

第2810例会 2024/02/26

例会日:月曜日12:30~13:30

クラブ会報委員会 竹ノ谷純宏

発行日 2024/03/04

会長挨拶

会長 藤嶋 剛史

ウクライナ侵攻から2年と2日が経ちましたが、本日卓話者の天江様よりお話を聞けるのは良い機会だと思います。ご紹介



をいただきました川鍋会員に感謝いたします。また、渡邊パスト本日はお越しいただきありがとうございます。私は来週の3月3日で入会から10年となりますが、その時ガバナーをされていたのが渡邊パストでした。地区米山出向の際は、選考委員長・部門委員長の2回担当していただき、大変お世話になりました。

さて、先日の例会で、島袋祥子会員の誕生祝いのスピーチの中に「誕生日は産んでくれたお母さんに感謝する日」というお話がありました。その時SAAの竹内さんから「お父さんにも感謝して欲しい」というコメントがありましたが、その竹内さんの四男のご息が先日結婚されまして、主賓の村井英樹さんから「四人も男の子を育てるのはさぞ大変だったはず、お母さんに感謝してください」というスピーチがありました。そこでもお父さんに感謝はなかったのですが、ただ、お母さんという言葉で思い出した話があるので皆さんに披露したいと思います。今から79年前までは日本も戦争をしていて、当時は多くの青年や少年兵など若い人たちも出征させられていました。そんな中、ある日アメリカ軍の攻撃で日本の船が撃沈されたのですが、海に投げ出されてもまだ生きていた人たちがいて、その多くが若者だったそうです。その人たちは最初、自分たちを鼓舞するために、軍歌を歌ったり、天皇陛下万歳などと叫んでいたようですが、次第に体力もなくなり、体温も奪われていく中で、最後に口にした言葉が「お母さん」だったそうです。一人が「お母さん!」と叫ぶと、皆が「お母さん、お母さん」と涙声で叫びながら海に沈んでいったと、わずかに生き残った人の記録に残っているそうです。戦争に巻き込まれる若者や子どもたちは、本当に悲惨だと思います。

一部の愚かな大人たちの思惑で、その大人たちの何分の一も生きられない人がいます。ポリオもそうですが、アフガニスタンやパキスタンに生まれていなければ障害を負うこともなかった、ウクライナやガザに生まれていなければ命を落とすことはなかった子どもや若者がいます。そして、かつての日本もそういう国の一つでした。しかし、いま日本は平和を享受しています。その私たちがいま、現状を深く知り、そして出来ることは何か、本日はそんなことを改めて考える機会になれば良いと思います。

ロータリーの目的・四つのテスト

【本日のリーダー】

川井 理砂子 会員



お客様紹介、米山記念奨学生紹介

- 元駐ウクライナ特命全権大使 天江 喜七郎様
- 第2770地区パストガバナー 渡邊 和良様 (浦和北 RC)
- さいたま市市議会議員 永井 りな様
- 2023 学年度米山記念奨学生 金 亮希さん (ご紹介:副会長 染谷 義一)



幹事報告

幹事 横溝 一樹



1. 先週・先々週にかけまして、米山委員会による新年例会反省会、クラブ会報委員会、会員増強維持委員会が、また2月22日に次年度地区チーム研修セミナーが行われました。ご参加の皆様お疲れ様でした。
2. 地区より能登半島地震支援金のお礼のメールをいただきました。また、あわせて地区内各クラブの支援金の内訳がございましたので配布いたしました。

把手共行 ~分かち合おう、共にロータリーの感動を~

事務局:さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4階

TEL 048-871-8881 FAX 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/



3. 第4グループ山崎ガバナー補佐より、IM ご参加のお礼のメールをいただきました。また、能登半島支援チャリティゴルフコンペが開催されることですので、そちらは改めてご案内させていただきます。

4. 大宮南ロータリークラブより、「ヤングケアラー支援啓発事業 市民集会」の案内が届いております。チラシをお配りいたしましたので、ご覧いただき、ご参加ご希望の方は事務局までご連絡ください。

5. 次回例会後に臨時の年次総会を行い、次年度人事についてご報告させていただきます。皆様よろしくお願いたします。

お客様ご挨拶

■第2770地区パストガバナー 渡邊 和良様

2013-14年度に2770地区のガバナーを務めました。本日はウクライナの話の聞きに参りました。



委員長報告、派遣役員報告

■直前会長 小沢 孝

先日、年度をまたいで承認いただいたグローバル補助金についてご報告しましたが、これに関して勉強の組織を作ろうかと思っています。これは島村まり子会員からお話ししてもらいます。

また、財団奨学生 森田悠介さんですが、1月に動きがありました。こちらを井上 勝美青少年奉仕担当理事よりお話いただきます。

■青少年奉仕担当理事 井上 勝美
ピアノの財団奨学生 森田悠介さんですが、今年1月、再試験があり合格されました。大宮西クラブとして支援を決定しました。

■島村 まり子会員

オーストラリアとの事業のお手伝いをしていきます。これから勉強して皆さんと共にやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

■地区 青少年交換委員会 委員 川鍋 洋子

青少年交換派遣候補生 竹内桃歌さんの派遣国が（第一志望である）スウェーデンに、そしてカウンセラーは齊藤敏雄会員に決まりました。8月にはスウェーデンから学生が来ますので、皆様にはサポートをお願いいたしたいと思います。よろしくお願い致します。



米山記念奨学金支給及び近況報告

■公益財団法人 ローター米山記念奨学会 2023年度 評議員 渡邊 和良様より



金 亮希さん 近況報告

就活ですが無事に最終面接に合格し、内定をもらいました。最初からずっと気になっていた1社の面接が今週あるので、それを以って就活が終了します。来週から2週間少し、母国に帰ってきます。



2024-25 年度地区役員 委嘱書授与

ローターアクト特別推進委員長 内山 泰成
ローターアクト特別推進委員 齊藤 敏雄
職業奉仕委員長 新井 清太
職業奉仕委員 島村 まり子
規定審議会検討委員 川井 理砂子
クラブ活性化副委員長 風岡 淳一
青少年交換委員 川鍋 洋子
国際交流委員 松本 有祐 計8名



RLI 修了証 授与

川鍋 洋子 会員 (RLI パート I・II・III 修了証・卒業証)
増永 裕樹 会員 (RLI パート III 修了証)



出席報告

■管理運営担当理事 大楽 剛



スマイル報告

■副SAA代理 菊池 裕一



山崎 一祥会員も副SAA代理

卓 話

元駐ウクライナ特命全権大使 天江 喜七郎様

1943年 仙台市生まれ、
1967年 一橋大卒、外務省入省
1967-69年 英国陸軍語学学校・ロンドン大学・モスクワ大学でロシア語研修



- ・(在外勤務) ソ連、イラン、英国、韓国(文化広報院長)、ソ連/ロシア(公使)、米国(ホノルル総領事)、駐シリア大使、駐ウクライナ/モルドバ大使
- ・(国内) 外務省 国際報道課長、国連政策課長、官房審議官、中近東アフリカ局長、関西担当特命全権大使 2006年退官。同志社大学客員教授、国立京都国際会館館長、KDDI 社外監査役等歴任。
- ・現在、ウクライナハウス・ジャパン共同代表、茶道裏千家淡交会顧問、日本国連協会評議員、京都日韓親善協会会長ほか。

国際奉仕委員会 委員長 永井 博より
プロフィールご紹介



【はじめに】

ロシア軍がウクライナを侵略し2年が経過。
この戦争の行方と日本外交について見解を述べる。



【要旨】

1. ウクライナとはどんな国か？

国土の面積は日本の 1.6 倍あり、ほとんどが平地で長時間ドライブしても山が見えない。世界有数の穀倉地が広がり、東部には豊富な石炭と鉄鉱石の産地があり大工業地帯がある。地政学的にもロシアと中部ヨーロッパを結ぶ要衝の地にある。人口は約 4200 万人で、独立後多数のウクライナ人が国外に移住。ソ連時代、ウクライナでは大陸間弾道ミサイルや巨大輸送機の製造等、軍需品が数多く製造されたが、現在ではハイテク産業の興隆が著しい。8割がウクライナ語、2割がロシア語を日常語とする。

2. ロシアの本質、ウクライナの本質

ロシアはバルト海から太平洋まで広大な領土を持つ。歴史的にモンゴルの支配とその影響でロシアは領土の征服と収奪で発展。他方、ウクライナは豊かな黒土地帯に自治権を獲得したコサック集団の根強い伝統がある。農民は土地を守るためには命を懸ける。

3. プーチンの戦争、ゼレンスキーの戦争

偉大なロシアの復興を狙うプーチンにとり、ウクライナを支配下に置くことは必要不可欠。18世紀のピョートル大帝やエカテリーナ女帝の偉業が念頭にある。他方、ウクライナは現在、ロシアからの独立戦争を戦っており、反ロシア感情はウクライナ人の遺伝子に深く刻まれている。

ロシア国旗 (ロシア帝国国旗)



4. 戦争の見通しと停戦の条件

ウクライナはロシア軍の完全撤退と領土の回復を条件とし、ロシアはクリミア及び南部・東部諸州の併合承認、ウクライナの NATO 非加盟、武装解除などを要求すると推測。両者の隔たりは大きく戦闘は今後も続くも、米国の軍事支援中断で戦況はウクライナにとって厳しくなりつつある。他方、欧州主要国はウクライナと安保協定を結び、NATO に新規加盟のスウェーデンが支援に加わる等、新たな動きも見える。ウクライナはドローンの大量生産など軍需品製造で、ロシアの攻勢を塞ぎとめる努力を傾注。兵員の確保が鍵となろう。



5. 日本は抑止力向上と対話を重視すべき

国連憲章に違反して侵略行為を続けているロシアに制裁を科し、ウクライナ政府を支援するのは当然。ロシアが成功すれば、中国や北朝鮮に誤ったシグナルを与えることになる。他方で、将来、日本がロシア、中国、北朝鮮のターゲットになる恐れなしとせず、日米安保に基づき抑止力を高めると同時に、中国、北朝鮮との積極的な対話を通じて緊張緩和に努める必要がある。



2月20日(火)にパレスホテル大宮で開催された第3・4Gの Intercity Meeting での記念講演の画像が届きましたので掲載いたします。

「野球から学んだ奉仕の心」清原 和博様

